

◆ 第4回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 平成30年7月24日(火) 19:00~20:50  
場所 竜神交流館 大会議室  
出席者 委員 : 18名(欠席2名)  
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、西村主査、  
オブザーバー: 桜井市議、杉本市議、今吉竜神交流館長、  
地域保健課 加藤担当長

---

- 次第
- 1 会長あいさつ
  - 2 竜神地域会議の予定  
※【宿題】わくわく事業等についての意見
  - 3 連絡事項  
(1) 竜神&けやき げんきフェスタについて  
(2) 応援講座について  
(3) わくわく団体の見学について
  - 4 協議事項  
(1) 平成31年度地域予算提案事業について
  - 5 その他

■議事(要約)

- 1 省略
- 2 竜神地域会議の予定について  
<事務局> これまでと予定表の記載内容を変更した。これまでは日時場所と会議名しか記載しなかったが、皆さんにスケジュール感を持っていただくために、会議の協議内容の予定を記載した。次回はわくわく事業の地域ルール等と12月9日に行う健康講演会について協議するため、宿題として事前に考えていただき、8月7日(火)までに支所に提出いただきたい。
- 3 連絡事項  
(1) 竜神&けやき げんきフェスタについて  
事務局から、開催報告と協力いただいた委員へのお礼  
  
(2) 応援講座について  
事務局から、終了した3つの応援講座について報告  
  
(3) わくわく団体の見学について  
事務局から、わくわく団体の見学依頼と見学日の連絡。見学希望団体を8月7日(火)までに支所に報告するよう依頼。

#### 4 協議事項

##### (1) 平成31年度地域予算提案事業について

事務局から地域予算提案事業 事業計画書（案）を提示。内容について変更の必要性等を協議した。

##### 決定事項

事務局が提示した地域予算提案事業 事業計画書（案）をもって地域振興部に提出する。

※事業の方向性については次の通り合意したため、詳細等については今後協議する。「脱メタボリンピック」はインセンティブ付の竜神健康スタンプカードを作成する。対象は全ての年代とし、竜神地内の健康スポット利用や健康イベントへの参加等によりスタンプが押され、すべて集めるとインセンティブ獲得の対象となる。賞品は交流館まつりで使える金券や高等支援学校の製品と交換など、地域に還元できるものとする。毎日の継続的な健康への取組み支援については、地域予算で新たに取り組むのではなく、保健部総務課の「きらきらチャレンジ90」を地域でPRする。

##### 意見等

<委員> スタンプの数は決まっているのか？

<事務局> 決まっていない。スタンプカードの内容については今後決めていく。

スタンプカードの対象はだれか？

<委員> メタボ対策ということであれば、40代～70代である。自治区のお祭りや元気アップ教室でPRをすればよい。

<地域保健課> 現在も元気アップ教室で「きらきらチャレンジ90」を配布している。

<委員> 対象はどの年代でもよく、各個人が目的を持って取り組むことが重要である。

<委員> スタンプの項目について、結果に対してスタンプを押すのと、プロセスに対しスタンプを押すのとでは違う。

<委員> スタンプはウェルネス・スポットをPRする意味もあるので、取組みの結果は「きらきらチャレンジ90」、取組みのプロセスをスタンプカードで支援すればよい。まずはスタンプカードをきっかけにチャレンジすることが大切である。

<委員> 日常の意識を高めるということは難しすぎてはダメで、楽しむことが必要である。

<委員> 対象をどの年代にするのではなく、より多くの人に参加してもらい、地域でどこまで拡大できるかが重要である。30年度は200名が参加したのであれば、31年度以降はさらなる拡大に取り組む、地域で1,000人～2,000人が取り組めるようにしなければならない。

<委員> 本事業は活動のきっかけである。今は脱メタボだが、ゆくゆくは広義の健康事業としていくのが良いと思う。

<事務局> スタンプを全て集めたことによるインセンティブはどうするか。

<委員> 景品で貰えるような物で、ほしいものはない。ペットボトル飲料などの消費できるものがよい。

<委員> 食事のご飯の量がわかるラインが入っているようなお茶碗はどうか。

<委員> 地域に還元できるものがよい。全て集めると交流館まつりの出店で使用

